

公開講演会

インテリジェンスと信仰心のはざまで 東洋学の担い手としてのロシア帝国仏教徒

日時

2021年 6月 5日（土） 14:00 ～ 17:00

講演者

井上 岳彦（人間文化研究機構総合人間文化研究
推進センター研究員／北海道大学スラブ・ユーラシア
研究センター特任助教）

コメンテーター

海野 典子（早稲田大学高等研究所 講師）

申込

Zoom開催：要事前登録

https://zoom.us/meeting/register/tJctdemgrTluEtN_taPw249zgseiwD8GpZ2



講演者プロフィール

北海道大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学、博士（学術）。現在、人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター研究員／北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教。専門はロシア近現代史、ロシア仏教文化研究。共編著・共著に、*The Resurgence of "Buddhist Government": Tibetan-Mongolian Relations in the Modern World* (Osaka: Union Press, 2019)、*Publishing in Tsarist Russia: a history of print media from enlightenment to revolution* (London: Bloomsbury Academic, 2020)、『牧畜を人文学する』（名古屋外国語大学出版会、2021年）など。

コメンテータープロフィール

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程修了、博士（学術）。現在、早稲田大学高等研究所講師。専門は中国・中央ユーラシア近現代史、イスラーム地域研究。主要業績に“Cutting off the Queue for Faith, Preserving the Queue for Face: Chinese Muslims' Queue-Cutting Movements in North China during the Xinhai Revolution Period”(Asian Studies 6 (1), 2018)、“Abdürreşid İbrahim's Journey to China: Muslim Communities in the Late Qing as Seen by a Russian-Tatar Intellectual”(Central Asian Survey 33 (3), 2014)、分担執筆に「経堂教育と新式教育：20世紀初頭の北京ムスリムの教育改革をめぐる議論と実践」（高尾賢一郎他編『宗教と風紀：＜聖なる規範＞から読み解く現代』、岩波書店、2021年）、“Ma Fulong”(Encyclopaedia of Islam, THREE, 2019年)、「日本の回教工作：日中戦争とムスリム」（中国ムスリム研究会編『中国のムスリムを知るための60章』、明石書店、2012年）など。

§プログラム§

14:00 ～ 14:10	開会挨拶
14:10 ～ 15:10	講演「インテリジェンスと信仰心のはざまで」（井上 岳彦）
15:10 ～ 15:20	休憩
15:20 ～ 15:50	コメント（海野 典子）
15:50 ～ 17:00	質疑・討論 ＊司会：秋山 徹（早稲田大学高等研究所 准教授）